本試験によく出る！甲種危険物問題集　改訂第４版　正誤表

ページ	箇所	誤	正
p.140	【問題１】解説	**気体は臨海温度より低い温度でないと液化せず、また、臨界温度のときに液化したときの圧力が臨界圧力となります。**	**臨界温度で気体を圧縮すると、臨界圧力に達したときに、気体と液体の区別がない臨界流体（超臨海状態にある物質）になります。**
p.141	下欄　解答蘭	【問題１】（４）	【問題１】（５）
p.180	【問題１１】解説 **下から６行を右の式に置き換えてください。**	なお、下記の①～③の式より、エタン（C_2H_6）の生成熱 Q を求める問題も出題されているので、要注意です。 ⇒　$2C+3H_2=C_2H_6+Q$　⇒この Q を求めればよい。 ①　$C_2H_6+7/2\,O_2=2CO_2+3H_2O+1560KJ$　（エタンの燃焼式） ②　$C+O_2=CO_2+394KJ$ ③　$H_2+1/2\,O_2=H_2O+286KJ$…③ ②×２＋③×３－①　から、$2C+3H_2=C_2H_6+86kJ$　と求まります。	
p.280	【問題 27】解説	第１類危険物は、加熱すると**酸素**を発生します。そのうち、アルカリ金属の無機過酸化物（過酸化カリウム、過酸化ナトリウム）は、**水と反応して**も**酸素**を発生します。 従って、Ｃの過酸化カリウム、Ｅの過酸化ナトリウムの**2つ**になります。	第１類危険物は、加熱すると**酸素**を発生します。そのうち、アルカリ金属の無機過酸化物（過酸化カリウム、過酸化ナトリウム）**やアルカリ土類金属の無機過酸化物（過酸化カルシウム、過酸化バリウム）及び過酸化マグネシウム**は、**水と反応して**も**酸素**を発生します。 従って、**Ａの過酸化カルシウム、Ｃの過酸化カリウム、Ｅの過酸化ナトリウムの3つになります。**
	【問題 27】解答	【問題 27】（2）	【問題 27】（３）
p.376	【問題 32】 解説　B	誤り。**酸化剤**との接触により激しく分解します。	**正しい。なお、酸化剤とも反応して激しく分解します。**
	【問題 32】 解説の最下行	従って、誤っているのは、B，Ｃの**２つ**になります。	従って、誤っているのは、**Ｃの１つ**になります。
p.377	【問題 33】 解説　B	誤り。硫酸ヒドロキシルアミンは強い**還元剤であり**、**酸化剤**が存在すると爆発的な分解が起こる場合があります。	**正しい。なお、硫酸ヒドロキシルアミンは強い還元剤なので、酸化剤とも反応して爆発的な分解が起こる場合があります。**
	【問題 33】 解説の最下行	従って、誤っているのは、B，Ｃの**２つ**になります。	従って、誤っているのは、**Ｃの１つ**になります。
p.377	下欄　解答蘭	【問題 32】（2） 【問題 33】（2）	【問題 32】（１） 【問題 33】（１）